

富山市観光戦略プラン（素案）についての主なご意見と対応（案）

委員名	発言要旨	対応
富田委員	DMOに関する説明記載が、まだ不十分ではないか。	<p>P 6 9 基本目標 6-2 協働による観光振興の推進と観光人材の育成 「特に、富山県の観光地域づくりの中核を担う組織として機能強化された、日本版DMOである公益社団法人とやま観光推進機構との更なる連携強化や富山市版DMO設立に向けた検討を行い、観光マーケティング等に基づく戦略的な観光地域づくりを推進する。」</p> <p>※新規推進事業「富山市版DMO設立事業」を追加</p>
富田委員	「協働による推進体制を構築する」について、具体的にどのように推進体制を構築していくかが推進事業から見えてこない。	<p>P 6 9 基本目標 6-2 協働による観光振興の推進と観光人材の育成 推進事業へ「富山市版DMO設立事業」を記載</p>
富田委員	目標とする指標がいろいろ盛り込まれているが、目標設定の考え方について、もう少し説明が必要ではないか。	<p>P 4 3 目標とする指標 基本ごとに設定している目標とする指標を整理・集約するとともに、「観光消費額」の目標指標を追加し、目標設定の考え方を記載</p>
佐近委員	「ターゲットに合った戦略的プロモーション」は、ビッグデータを活用し、分析することが必要ではないか。	<p>P 5 8 基本目標 3-4 ターゲットに合った戦略的プロモーションの実施 「本市を訪れている観光客の傾向を観光統計やビッグデータ等の活用を図りながら調査・分析することでターゲットを明確にし、そのターゲットに合ったコンテンツを用いて、最適な手段、タイミングでPRを展開する。」</p>
森田委員	目標指標について、人口減少の中で、人数を追及していくものが指標として有効か疑問である。また、「産業観光・滞在型観光の推進」の目標指標は、個人的には違うと思う。	<p>P 4 3 目標とする指標 基本ごとに設定している目標とする指標を整理・集約するとともに、「観光消費額」の目標指標を追加し、目標設定の考え方を記載</p>
中田委員	観光というものを産業として育てる視点が不足しているのではないか。	<p>P 6 3 基本戦略 5 起点 産業観光、滞在型観光の推進 「また、観光産業と製造業、農林水産業等との連携により、富山ならではの魅力を創出するとともに「稼げる観光産業」を育成し、域内経済循環の促進により、地域経済の活性化を図る。」</p>
中田委員	外国人観光客をアルペンルート以外の観光地へ誘導したり、富山市内で宿泊させるような仕組みを作らな	<p>P 6 3 「基本戦略 5 起点 産業観光、滞在型観光の推進」で富山市を起点とした施策を記載。</p>

	ればならない。	
中田委員	ビジネス客の方が観光客よりも夜の街での消費額が大きいので、ビジネス客に対する施策を入れるべきではないか。	P 5 8 基本戦略 3-4 ターゲットに合った戦略的プロモーションの実施 「また、北陸新幹線や航空路線を利用し、本市を訪れている多くビジネス客をターゲットに、本市在住の地域おこし協力隊等が、居酒屋等の飲食店をはじめとする夜の魅力について、SNS等を活用し情報発信を行う。」
西尾委員	計画の中には、これまで実施してきたものは記載せずに、新たに取り組むことのみを記載してはどうか。	「将来の観光像」の実現には、既存実施事業及び新規事業の実施が不可欠であることから、両事業を区分し記載する。
西尾委員	富山のブランドとして「薬」が挙げられているが、県内と県外の人との間でギャップがあるので、「コンパクトシティ」や「クリーン」の方が富山ブランドに近いのではないか。	P 5 5 基本目標 3-2 富山ブランドの育成とマーケティング強化 「また、一定の人口を維持しながら、将来にわたって持続可能な都市を構築するため、「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」の取り組みによって、国から「環境モデル都市」、「環境未来都市」に選定されたことに加え、国際的にも OECD の『コンパクトシティ政策報告書』に世界の先進五都市の一つとして取り上げられたほか、米国ロックフェラー財団から「100 のレジリエント・シティ」にも選定されるなど、本市の持続可能な都市経営やコンパクトなまちづくりが国内外から高い評価を得ていることから、新たな富山ブランドとして、シティプロモーションの推進や市民のシビックプライドを高めていく。」
松丸オブザーバー	インバウンド対策について、ターゲットをFITに絞っても良いのではないか。	「訪日外国人旅行者の誘致において重要なことは、「情報の発信」と「受入態勢の整備」であり、FIT対応を中心とし、ハード、ソフトの両面からインバウンドへの対応を推進していく。」
高橋委員	富山板DMOのイメージを作るべきではないか。	P 6 9 基本目標 6-2 協働による観光振興の推進と観光人材の育成 「特に、富山県の観光地域づくりの中核を担う組織として機能強化された、日本版DMOである公益社団法人とやま観光推進機構との更なる連携強化や富山市版DMO設立に向けた検討を行い、観光マーケティング等に基づく戦略的な観光地域づくりを推進する。」 ※新規推進事業「富山市版DMO設立事業」を追加
高橋委員	全市的なDMOと中山間地域版DMOをどう作って、どう繋げていくかが重要ではないか。	P 6 9 基本目標 6-2 協働による観光振興の推進と観光人材の育成 「特に、富山県の観光地域づくりの中核を担う組織として機能強化された、日本版DMOである公益社団法人とやま観光推進機構との更なる連携強化や富山市版DMO設

		立に向けた検討を行い、観光マーケティング等に基づく戦略的な観光地域づくりを推進する。」 ※新規推進事業「富山市版DMO設立事業」を追加
高橋委員	いろいろなアウトプット指標が出ているが、もう少しアウトカム指標を入れるべきではないか。	P 4 3 目標とする指標 基本ごとに設定している目標とする指標を整理・集約するとともに、「観光消費額」の目標指標を追加し、目標設定の考え方を記載
高橋委員	インバウンドで海外から外国人を呼ぶだけでなく、国内在住の外国人、特に外国人の子供たちを呼ぶことを重視してはどうか。	P 4 9 基本目標 2-1 ターゲットを絞った誘致活動の強化 「国内に無数にある観光地の中から、本市が外国人旅行者や在日外国人から選ばれるよう、外国人旅行者のニーズに合った本市の観光資源を選別し、インターネット等を通して情報発信を強化していく。」 ※新規推進事業「国内在住外国人向けモニターツアー事業」を追加
鵜殿委員	「将来の観光像」について、継承した理由を記載してはどうか。	P 4 2 富山市観光戦略プランの目指す将来の観光像 「本プランは、広域観光の振興の中で、本市が拠点都市として成長・発展を遂げていこうとする現行の観光実践プランの主旨を引き続き踏襲していくことから、本市が目指す将来の観光像についても、現行の観光実践プランの「豊かな自然の中で輝く人間交流都市」を継承するとともに、本市の豊かな海・山岳・大地の自然と、都市・歴史・文化・風土・産業を一体的に活用するとともに、広域観光交流拠点として、観光のみならず、多様な目的を持つ人々が交流する「観光～AMAZING TOYAMA～」を目指していく。さらに、本市の魅力を活用した観光業の創出・育成についても民間企業等と協働しながら取り組んでいく。」
鵜殿委員	「将来の観光像」の説明文に、「更に、本市の魅力を活用した観光業の創出・育成についても民間企業と協働しながら取り組んでいきたい。」を加えられないか。	P 4 2 富山市観光戦略プランの目指す将来の観光像 「本プランは、広域観光の振興の中で、本市が拠点都市として成長・発展を遂げていこうとする現行の観光実践プランの主旨を引き続き踏襲していくことから、本市が目指す将来の観光像についても、現行の観光実践プランの「豊かな自然の中で輝く人間交流都市」を継承するとともに、本市の豊かな海・山岳・大地の自然と、都市・歴史・文化・風土・産業を一体的に活用するとともに、広域観光交流拠点として、観光のみならず、多様な目的を持つ人々が交流する「観光～AMAZING TOYAMA～」を目指していく。さらに、本市の魅力を活用した観光業の創出・育成についても民間企業等と

		協働しながら取り組んでいく。」
鵜殿委員	目標指標の「県内主要観光地からの富山市内観光実施率」は、県内主要観光地ではなく「県外」主要観光地（または連携自治体から）にしては如何でしょうか。	P 4 3 目標とする指標 基本ごとに設定している目標とする指標を整理・集約するとともに、「観光消費額」の目標指標を追加し、目標設定の考え方を記載
鵜殿委員	通年型の観光として総合計画に出てくる「ヘルスケアツーリズム」は明記しないのか。	P 6 3 基本目標 5-1 多様なニーズに応える旅行素材の開発、商品化の推進 「さらに、本市を滞在拠点として、市内はもとより県内外の観光地を巡るほか、角川介護予防センター等での検診や温泉を活用した介護予防サービスにより心身のバランスを整えるヘルスツーリズムなど、新たな滞在型観光を旅行業者等と連携して、研究・企画するとともに、滞在型観光は、将来的に週末や季節に応じて、本市に滞在する二地域居住（マルチハビテーション）などに繋がる可能性もあり、リピーターとして訪れる「富山ファン」の獲得に努めていく。」
鵜殿委員	総合計画の表現との平仄合わせをしてほしい。	総合計画の表現との平仄合わせを行う。
鵜殿委員	基本目標 6-2 協働による観光振興の推進と観光人材の育成 官民ファンドの記載について、「金融機関や官民ファンド、関係機関等と必要な連携を行いながら、新規観光事業者等の創業支援や育成を行う。」ではどうか。	P 6 9 基本目標 6-2 協働による観光振興の推進と観光人材の育成 「金融機関や官民ファンド、関係機関等と必要な連携を行いながら、新規観光事業者等の創業支援や育成を行う。」 ※新規推進事業「観光関連事業者支援事業」を追加
鵜殿委員	東京オリンピック・パラリンピックに向けた施策などはないか。	P 5 1 基本目標 2-2 外国人受入態勢の整備 新規事業として「外国人受入態勢整備支援事業」を追加。
鵜殿委員	文化的事業の誘致などがあってもいいのではないか。	P 5 7 基本目標 3-3 各種イベントの魅力向上による通年型観光の促進 新規事業として「トリエンナーレ開催事業」を追加